



### INDEX

- ◆ 社研お便り
- ◆ お知らせ
- ◆ 研究会・セミナー
- ◆ 全所的プロジェクト
- ◆ 刊行物案内
- ◆ 所員の発言
- ◆ CSRDA/SSJDA
- ◆ 社研インタビュー
- ◆ 人事情報
- ◆ リンク集

### ◆ 社研お便り

#### 「出身地と私」

「香川県出身の香川です」というと覚えてもらいやすい(と勝手に信じている)のもあって出身地は「香川県」ということになってきた。「してきた」というのは、私の場合、出身地判断の三大要素である「生まれた場所」、「出身高校の所在地」、「現在の実家の場所」が香川にあるのは確かだが、通算でも3年とちょっとしか実際に住んでいたことはないからだ。そういうわけで、名産も名所もそして「おいしいうどん屋」もたいてい知らない。

実際、高校卒業までで居住期間が最も長いのは対岸にある岡山県だし、今のところ東京に住んでいた期間が一番長い。経歴詐称にはならないが、どこか居心地の悪い思いを抱えながら「香川出身です」と言ってきた。

香川県ときいて、多くの方が思い浮かべるのは「讃岐うどん」であろう。約20年前に上京したときはそれほどでもなかったのに、気がつけば、私の出身地は「うどん県」と名乗るようになり、「年明けうどん」なる(おそらく)新しい伝統まで作り出してしまった。

一方、それほど知られていない香川の郷土料理(?)にお雑煮がある。地域によってお雑煮には様々なバリエーションがあるが、香川のお雑煮は白味噌仕立てにあん餅が入ってい

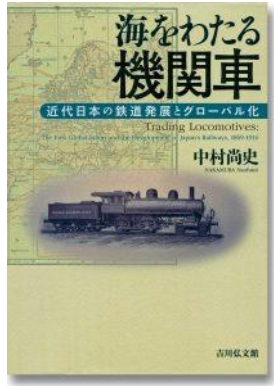
#### 「子どもの生活と学び」研究プロジェクト特任助教 香川 めい

る。生まれてこのかた、このお雑煮しか食べてこなかった身としては全く違和感がないのだが、上京して相当珍奇なものであることを知るに至った。世の中のほとんどのお雑煮には、甘いお餅は入らないらしい。このために餅つき機を導入するまでの勇気はないし、かといってあん餅の入らないお雑煮は味気ない。入手法が毎年の小さな懸念事項だったのだが、東京とは便利な所で、香川と愛媛のアンテナショップで、年末に販売することを知って問題は解決した。それほど広くはない店内に長蛇の列をなす人々を見るに、東京にはあん餅雑煮を忘れられない香川出身者が相当数いるようだ。たかが雑煮の話だが、この点に関してのみは胸を張って「香川県出身」と言えるかもしれない。



◆ お知らせ

01> 島秀雄記念優秀著作賞(単行本部門)

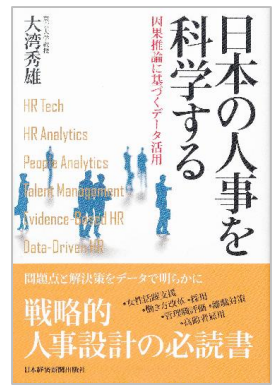


中村 尚史が、『海をわたる機関車—近代日本の鉄道発展とグローバル化』(吉川弘文館, 2016年2月)により、2017年 島秀雄記念優秀著作賞(単行本部門)を受賞しました。

<http://www.jrc.gr.jp/award/cyosaku/cy2017>

02> エコノミストが選ぶ 経済図書ベスト10

2017年の「エコノミストが選ぶ 経済図書ベスト10」に玄田 有史編著『人手不足なのになぜ賃金が上がらないのか』(慶應義塾大学出版会, 2017年4月)が1位に、大湾 秀雄著『日本の人事を科学する—因果推論に基づくデータ活用』(日本経済新聞出版社, 2017年6月)が4位に選ばれました。(2017年12月30日朝刊『日本経済新聞』)



<https://www.nikkei.com/article/DGXMZO25140590X21C17A2MY5000/>

超高齢社会における  
紛争経験と司法政策  
<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjrp/>

03> 「超高齢社会における紛争経験と司法政策プロジェクト」からのお知らせ

現在、次の調査を実施中です。本研究は、現代日本社会における人びとの紛争経験とそれへの対応行動を総合的・実証的に解明し、

その知見に基づき司法政策上の提言を行うことを目的としています。ご協力をお願いいたします。

1. 「暮らしのなかの困りごとに関する全国調査(2017年11月～12月)」  
<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjrp/activities/survey/surbey-02/20171112.html>
2. 「司法についての意識調査(2017年12月～2018年2月)」  
民事裁判経験者の皆さまへのアンケート調査  
<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjrp/shihou-t.html>  
弁護士の先生方へのアンケート調査  
<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjrp/shihou-d.html>

◆ 研究会・セミナー

01> 社研セミナー

2017-11-14 「東大社研パネル調査と格差の連鎖・蓄積研究」  
石田 浩(社会科学研究所)  
<http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2017/20171114.html>

- 2017-12-12 「ホフマン卿による文脈主義的契約法理の盛衰と英国契約法の行方」  
**石川 博康** (社会科学研究所)  
<http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2017/20171212.html>
- 2018-01-09 「『ドイツの政治』とドイツの政治」  
**平島 健司** (社会科学研究所)  
<http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2017/20180109.html>

02>  **現代中国研究拠点** <http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/kyoten/>

- 2017-10-25 センターセミナー  
 “Dynamics of Image Creation on China in Comparative Perspectives”  
<https://ricas.ioc.u-tokyo.ac.jp/news/news.php?id=WedAug301136192017>
- 2017-10-31 第36回現代中国研究拠点セミナーシリーズ  
 “China and Brazil: What Model of South-South Relations?”
- 2017-11-08 第37回現代中国研究拠点セミナーシリーズ  
 「十九大以后的中国经济走向 中国共産党第19回大会以降の中国経済」
- 2017-11-15 第38回現代中国研究拠点セミナーシリーズ  
 「中信公司(CITIC)訪問団との交流会」
- 2017-12-24 第39回現代中国研究拠点セミナー・  
 第31回東アジア国際関係史研究会  
 「合評会 習近平政権を読む」

03> **産業組織研究会** <http://www.iss.u-tokyo.ac.jp/~matsumur/IOWJA.html>

- 2017-10-18 “Informative Campaign under Multidimensional Politics: A Role of Naive Voters”  
**笠松 怜史氏** (東京大学大学院経済学研究科博士課程)
- 2017-12-20 “Assessing the Inefficiency Caused by the Hold-up Problem in Public-works Procurement”  
**鶴岡 昌徳氏** (横浜国立大学国際社会科学研究院准教授)
- 2017-12-27 “Customer Learning and Revenue-Maximizing Trial Provision”  
**砂田 健揚氏** (ペンシルベニア大学大学院大学院生)
- 2018-01-09 “Essays in Imperfect Competition and Strategic Behavior”  
**広瀬 浩介氏** (東京大学大学院経済学研究科博士課程)

04> **The ISS Contemporary Japan Group** <http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjg/>

- 2017-10-26 “Getting Steamed—Local-Level Impediments to Geothermal Energy Exploration in Japan—”  
**Jacques E.C. Hymans** (University of Southern California)
- 2017-11-16 “Private Employment Services and Temporary Labour Migration  
 —The Case of Japanese Temporary Staffing Firms in East and Southeast Asia—”  
**Karen Shire** (University of Duisburg-Essen)
- 2017-11-29 “Democracy through Strength—Asia’s Development and Democratization—”  
**Dan Slater** (University of Michigan)

## 05> 東大・バークレー戦略的パートナーシップ 講演会

東京大学社会科学研究所では、カリフォルニア大学バークレー校との戦略的パートナーシップ事業の一環として、国際政治、特に宗教と紛争との関係がご専門の**Ron Hassner**准教授の講演会を開催致しました。駒場キャンパス、本郷キャンパスそれぞれで異なるテーマの講演会が実施されました。詳細につきましては、以下のウェブページをご参照下さい。

2017-11-17 <駒場キャンパス講演会:「戦争と宗教」>

日本語: [http://utokyo.ucberkeley.jp/ja/news\\_and\\_events/lecture\\_hassner1](http://utokyo.ucberkeley.jp/ja/news_and_events/lecture_hassner1)

英語: [http://utokyo.ucberkeley.jp/en/news\\_and\\_events/lecture\\_hassner2](http://utokyo.ucberkeley.jp/en/news_and_events/lecture_hassner2)

2017-11-24 <本郷キャンパス講演会:「拷問への強い・弱い批判」>

日本語: [http://utokyo.ucberkeley.jp/ja/news\\_and\\_events/lecture\\_hassner3](http://utokyo.ucberkeley.jp/ja/news_and_events/lecture_hassner3)

英語: [http://utokyo.ucberkeley.jp/en/news\\_and\\_events/lecture\\_hassner4](http://utokyo.ucberkeley.jp/en/news_and_events/lecture_hassner4)

## ◆ 全所的プロジェクト



**危機対応学 HP**  
<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/>

**公式Twitter**  
<https://twitter.com/crisisthinking>

## 01> 活動報告

2017-10-17 第5回危機対応学ワークショップ

「危機対応学の研究方向性について」

2017-11-21 第6回危機対応学ワークショップ

「危機対応学・社会調査の分析結果(中間報告):防災意識・行動・価値観の検討」

**有田 伸・飯田 高・石田 賢示・玄田 有史・鈴木 恭子・藤原 翔**(社会科学研究所)

2017-11-25 危機対応学公開ワークショップ@釜石

「未来の自然災害に備えて～今、知っておくべきこと～」

シンポジウムの内容については、こちらをご覧ください。

<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/research/post-4.html>



2017-12-18 第7回危機対応学ワークショップ

「トランプ現象はどのように説明できるのか」

**西川 賢氏**(津田塾大学学芸学部国際関係学科 教授)

詳細> <https://twitter.com/crisisthinking/status/942680150356791296>

## 02> エッセイ掲載

2017-10-05 「被災経験と時間の複数性——危機対応学公開シンポジウム「震災を生きる」を終えて」

佐藤 岩夫 (社会科学研究所)

<http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/essay/post-8.html>

## 03> 研究成果 DP

2017-10 DP No.3 “The Politics of Expertise in Transnational Economic Governance: Breaking the Cycle”

Annelise Riles氏 (コーネル大学法科大学院教授・人類学教授)

[http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/images/dp3\\_Riles.pdf](http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/images/dp3_Riles.pdf)

2017-12 DP No.4 「想定首都直下地震の危機対応学～被害想定、帰宅困難、仮住まい～」

佐藤 慶一氏 (専修大学)

[http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/images/dp4\\_sato\\_1.pdf](http://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/images/dp4_sato_1.pdf)



## 04> メディア掲載

2017-11-26 『読売新聞』掲載:「災害時に危機対応学」

2017-11-27 『毎日新聞(地方版・岩手)』掲載:「災害経験者ほど「自信」 東大が全国アンケ」

2017-12-15 『広報かまいし』掲載:まちの話題のページ(p.9)に掲載

## 希望学

[A Wish for Something to Come True by Action](http://project.iss.u-tokyo.ac.jp/hope/)

<http://project.iss.u-tokyo.ac.jp/hope/>

## 01> メディア掲載

2017-10-24 『大人のための社会科 — 未来を語るために』(有斐閣)に宇野 重規「希望—「まだ—ない」ものの力」が掲載されました。

2017-11-04 『朝日新聞』の「折々の言葉」に中村 圭介氏(法政大学教授)が「広報かまいし」に掲載した文章が引用されました。

2017-11-28 『やさしい行動経済学』(日経ビジネス人文庫)に玄田 有史「希望の役割を科学する」が掲載されました。

## ◆ 刊行物案内



井手 英策・宇野 重規・坂井 豊貴・松沢 裕作

『大人のための社会科

——未来を語るために』

(有斐閣, 2017年9月)

ディスカッションペーパー(外国語シリーズ)

F-187 Yu Mandai and Masaki Nakabayashi,  
“Stabilize the Peasant Economy: Governance of  
Foreclosure by the Shogunate”が改訂されました。  
(初版発行2017年9月)

## ◆ 所員の発言

### 01> 新聞・雑誌

- 2017-10-12 『The Economist』に**ケネス・盛・マッケルウェイン**の発言「Why the LDP keeps winning elections in Japan: pragmatism」が紹介されました。
- 2017-10-13 『毎日新聞』(朝刊)に**大沢 真理**の発言「女性活躍」の現場から:2017衆院選／1 ひとり親世帯、置き去り」が掲載されました。
- 2017-10-18 『The Irish Times』に**ケネス・盛・マッケルウェイン**の発言「Japanese electorate set to stick with devil it knows」が紹介されました。
- 2017-10-09 『読売新聞』(朝刊)の「論点スペシャル 失敗しない政治家選びは」に、**宇野 重規**のインタビュー記事「党のイメージに流されず」が掲載されました。
- 2017-10-21 『日本経済新聞』(朝刊)に**深尾 京司・中村 尚史・中林 真幸**編『岩波講座 日本経済の歴史』(岩波書店・各3800円)既刊1～3巻の書評が掲載されました。
- 2017-10-23 『読売新聞』(夕刊)の「解題新書」に、**宇野 重規**の「少子高齢化 自らの問題」が掲載されました。
- 2017-10-24 『朝日新聞』(朝刊)に、**宇野 重規**の「日本政治にも分極化の兆し」が掲載されました。
- 2017-10-24 『毎日新聞』(朝刊)に**宇野 重規**が出席した座談会の記事「衆院選2017:自民大勝 与党3分の2 検証座談会」が掲載されました。
- 2017-10-24 『東京新聞』(朝刊)「時代を読む」に、**宇野 重規**の「若者の保守化」に思う」が掲載されました。
- 2017-10-28 『日本経済新聞』(朝刊)の記事「危機の時代」の経済学、ケインズと同時代人の知に学ぶ(活字の海で)」に、**大瀧 雅之**の発言が掲載されました。また**大瀧 雅之・加藤 晋**編『ケインズとその時代を読む』(東京大学出版会)が紹介されました。
- 2017-10-31 『Foreign Affairs』に**ケネス・盛・マッケルウェイン**の論説(Jeffrey W. Hornungと共著)「Abe's Victory and Constitutional Revision」が掲載されました。
- 2017-11-08 『西日本新聞』(朝刊)「若者が保守化」本当?」に、**宇野 重規**のインタビューが掲載されました。
- 2017-11-08 『朝日新聞』(朝刊)の「(耕論)中国の夢と足元」に、**伊藤 亜聖**による「起業続々、今やIT先進国」が掲載されました。
- 2017-11-14 『東京大学新聞』(第2823号)に、**大沢 真理**へのインタビュー記事「想像力を最大限働かせて ジェンダー研究者が語る学生時代」が掲載されました。

### 02> テレビ・ラジオ

- 2017-10-17 J-WAVE『Jam the WORLD』の「いま改めて「保守主義とは何か?」を考える」に**宇野 重規**が出演しました。
- 2017-10-18 NHK『クローズアップ現代+』の「シリーズ 習近平の中国② 加速する“創新(イノベーション)“ 経済」に、**伊藤 亜聖**が出演しました。
- 2017-10-26 **ケネス・盛・マッケルウェイン**が『The Global Journalist』の「Japanese pacifism under attack」に出演しました。
- 2017-11-06 **ケネス・盛・マッケルウェイン**が『WBEZ』の「Will Abe Change Japan's 'Peace' Constitution?」に出演しました。

- 2017-12-08 **中川 淳司**がNHKワールド・ラジオ日本『ニュース解説Insight』で「今回のWTO閣僚会合の焦点」についてコメントしました。
- 2017-12-14 **玄田 有史**がNHK『クローズアップ現代+』の「アラフォー・クライシス」にインタビュー出演いたしました。
- 2017-12-19 **玄田 有史**がBSフジ『プライムニュース』「人手不足でも賃金低迷 日本経済の「謎」解剖 給料UPは実現するか」に、ゲスト出演いたしました。

### 03> WEBSITE

- 2017-10-01 『東洋経済オンライン』の記事「悪意がある人が「統計」を扱うとかなり危険だ 統計は騙し、盗み、中傷し、人をも殺す」に、**佐々木 弾**のインタビューが掲載されました。
- 2017-10-10 『Yahoo!ニュース』記事「【PR】週末も家事で休めない妻——夫婦「休み格差」はなくなるのか」にて、**鈴木 富美子**の発言が紹介されました。
- 2017-10-27 『Discuss Japan』に**ケネス・盛・マツケルウェイン**と**牧原 出**教授の対談「A Long-Lived, Unamended Constitution」が掲載されました。
- 2017-10-31 『WEBRONZA』に、**宇野 重規**の「あいまいな日本のリベラル」が掲載されました。
- 2017-11-13 『WEBRONZA』に、**宇野 重規**の「バラバラの野党を再構築するために必要なこと」が掲載されました。

## ◆ 社会調査・データアーカイブ研究センター(CSRDA/SSJDA)



### 01> お知らせ

- ・1046 (ワーキングパーソン調査, 2014)のデータが一部修正されました。

### 02> SSJDAデータ公開情報

2017-10-10

- 1149 「新規開業実態調査, 2016」(日本政策金融公庫総合研究所)
- 1150 「新規開業実態調査(特別調査), 2016」(日本政策金融公庫総合研究所)

2017-10-16

- 1137 「Macromill Weekly Index, 2016.10-12」(マクロミル)
- 1160 「Macromill Weekly Index, 2017.1-3」(マクロミル)

2017-10-17

- 1135 「就職・採用活動開始時期の後ろ倒しに係る学生の就職活動等調査, 2015」(内閣府政策統括官(経済財政運営担当))
- 1136 「就職・採用活動開始時期変更に係る学生の就職活動等調査, 2016」(内閣府政策統括官(経済財政運営担当))

2017-11-06

1159 「国際化と市民の政治参加に関する世論調査, 2013」(国際化と政治参加に関する研究プロジェクト (代表: 田辺俊介))

2017-11-14

1140 「生命倫理に関する意識調査, 2014」(NHK放送文化研究所世論調査部)

2017-11-20

1130 「介護労働実態調査, 2015」(介護労働安定センター)

1146 「中小企業労働事情実態調査, 2016」(全国中小企業団体中央会)

2017-11-21

PM080 「東大社研・壮年パネル調査(JLPS-M)wave1-8, 2007-2014」(東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト)

PY080 「東大社研・若年パネル調査(JLPS-Y)wave1-8, 2007-2014」(東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト)

2017-12-04

1142 「奨学事業に関する実態調査, 2013」(日本学生支援機構)

2017-12-18

1164 「全国就業実態パネル調査, 2017」(リクルートワークス研究所)

2017-12-25

1148 「職業イメージに関する調査, 2013」(林 拓也)

2018-01-09

158 「社会的ミリューと政治の交錯に関する研究, 2005」(樋口直人)

## ◆ 社研インタビュー

### 01> 第29回 新刊著者訪問

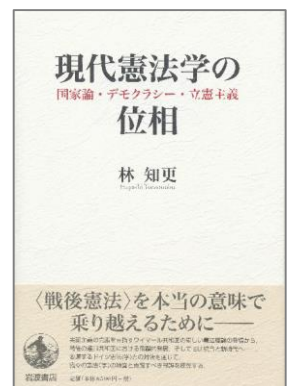
『現代憲法学の位相 国家論・デモクラシー・立憲主義』  
(岩波書店2016年5月)

林 知更(専門:憲法学・国法学)

——本書は先生にとって初めての単著ということですが、研究者にとって単著はやはり大きな節目になるものと思います。率直なお気持ちを聞かせてください。

林>そうですね、本を出すことに対する思い入れは人それぞれだと思います。最近の若い人は、競争も厳しく、なるべく早く最初の業績を本にして、目に見えやすい形で自分の仕事をアピールする圧力に晒されているようで、大変だなあ、と思います。(続きはぜひ本文をご覧ください！)

[http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/interview/publishment/hayashi\\_2017\\_12.html](http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/interview/publishment/hayashi_2017_12.html)



### 02> 第26回 社研卒業生の現在(いま)



松村 智雄 さん 法政大学人間環境学部(講師)

専門分野: 東南アジア地域研究(主なフィールドはインドネシア)、華人研究、移民研究

社研在職期間: 2009年5月～2010年4月 学術支援専門職員

・社研在籍当時や最近のご様子についてお話を伺いました。西カリマンタンの写真も満載です！ <http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/interview/ob/index.html>



## ◆ 人事情報 (2017年11月16日付)

(特定短時間勤務有期雇用教職員)

異動内容	氏名	職名	所属等
採用	澁谷 美和	特任研究員	共同利用拠点室

## ◆ 社会科学研究所/リンク集

- 01> 各種最新情報: <http://issnews.iss.u-tokyo.ac.jp/>
- 02> 研究会・セミナー案内: <http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/index.html>
- 03> 人材公募情報: <http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/recruitment/index.html>
- 04> 刊行物一覧: <http://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/index.html>

## ◆ 補足

## 訂正記事

NEWSLETTER No.1 (2017年秋号)p.3 危機対応学のメディア掲載、『釜石復興新聞』は『復興釜石新聞』の誤りでした。ここに訂正するとともに関係者にお詫び申し上げます。